

令和2年9月2日招集

茂原市議会定例会会議録（第3号）

議事日程（第3号）

令和2年9月10日（木）午前10時00分開議

第1 一般質問

〔(6) 石毛隆夫議員〕

茂原市議会定例会会議録（第3号）

令和2年9月10日（木）午前10時00分 開議

○議長（ますだよしお君） おはようございます。ただいまから本日の会議を開きます。
現在の出席議員は22名であります。したがって、定足数に達し会議は成立しました。

————— ☆ ————— ☆ —————

議 事 日 程

○議長（ますだよしお君） 本日の議事日程は、お手元に配付してありますので、それにより御了承願います。

————— ☆ ————— ☆ —————

一 般 質 問

○議長（ますだよしお君） それでは、これより議事日程に基づき、議事に入ります。
議事日程第1「一般質問」を行います。
昨日からの一般質問を続行します。
本日は、質問順位6番であります。
発言に入る前に申し上げます。質問者は質問内容を簡明に述べるとともに、答弁者はその内容を的確に把握し、明確な答弁をされますようお願いいたします。

なお、今定例会における質問時間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応のため、答弁を含め45分以内となっておりますので、御了承願います。

それでは、石毛隆夫君の一般質問を許します。石毛隆夫議員。

（3番 石毛隆夫君登壇）

○3番（石毛隆夫君） 皆様、おはようございます。公明党の石毛隆夫でございます。市議会公明党を代表して、一般質問をさせていただきます。

世界保健機構、WHOが新型コロナウイルス感染症のパンデミックを3月11日に表明してから約6か月たちます。収束の見通しは依然不透明ではありますが、経済活動と感染防止への取組は両立しながら進めていくことが重要であり、我々市議会公明党も、2回にわたり、新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書を市長に提出し、新たな生活様式を取り入れながら、次のステップに進んでいくための支援施策、防災・減災対策を提案させていただきました。国の支援と併せて、支援の隙間をつくらないためにも、各地域の実情に合わせた市独自の支援施策が求められています。

それでは、6人目の登壇者となり、重複している箇所もございますが、通告に従いまして、1回目の質問をさせていただきます。

1つ目の新型コロナウイルス感染症対策について2問質問いたします。

初めに、家庭と事業者への支援について。新型コロナウイルス感染症対策に奔走する地方自治体の取組を支援するための地方創生臨時交付金として、1次補正で2億3900万円余、2次補正で6億6300万円余が限度額として交付されます。

そこで、本市においては、第1次実施計画で17事業、第2次実施計画で16事業を実施、または実施する予定となっており、実施計画の立案に際しては、幅広い視点からの検討が求められますが、どのような点に最も留意をされたのか。また、どのように市民のニーズを収集、反映し、実施計画を立案されたのか伺います。

次に、医療体制について。新型コロナウイルス感染収束が見込まれない中、秋以降はインフルエンザの備えも必要となります。今年度のインフルエンザワクチンの供給量は、1回接種とすると約6300万人分となる見通しであります。インフルエンザは、新型コロナウイルス感染症と症状の見分けがつきにくく、医療現場の混乱を避けるためには、PCR検査数の拡大と、重症化リスクが高い65歳以上の高齢者や、持病のある方、医療従事者や受験生から優先的にインフルエンザ予防接種を行うことが有効であると考えますが、本市の見解を伺います。

2つ目のコロナ禍における避難所について2問質問をいたします。

まず、避難所体制について。本年7月の記録的な豪雨による災害で、熊本県を中心に、8月4日現在、1521人が避難生活を余儀なくされました。こうした中、政府は、感染症対策と避難生活の環境改善へ、ホテル、旅館を一時的に避難所として活用できるようにしました。

そこで、本市の状況は、ハザードマップの更新に伴い、指定避難所が28か所に減少しましたが、今後の避難所増設への取組について伺います。

次に、避難所の運営について。コロナ禍における実態に即した分散避難体制の構築については、新たな避難所マニュアルを基にした避難訓練を早急に行うことにより、確実な分散避難体制の構築が可能になると考えます。コロナ禍に対応する避難所マニュアルの作成状況について伺います。

3つ目の教育環境の整備について3問質問をいたします。

まず、GIGAスクール構想の早期実現について。当初の本市の計画では、今年度中に校内ネットワーク環境の整備を完了する計画でありましたが、コロナ禍で教育環境を維持するため、計画の前倒しが必要であると考えますが、本市のGIGAスクール構想のスケジュールについて

て伺います。

次に、教員の加配、学習サポーター等の追加配置について。コロナ禍における臨時休業に伴い、小中学生の授業に遅れや過剰な負荷がかかることを懸念しています。そこで、教員の加配及び学習サポーター、スクールサポートスタッフ、スクールカウンセラー等の追加配置について、本市としてはどのように考えているのか伺います。

次に、小中学校体育館への空調設備について。我々市議会公明党としても、平成31年3月議会一般質問や予算要望書などで、小中学校体育館への空調設備の設置について要望してまいりましたが、エアコン整備は、生徒らの熱中症対策に限らず、災害時の避難所環境の改善にも資するものと考えます。熱中症警戒アラートの危険や厳重警戒が連日のように発表された今年の夏の状況は、今後も続くものと考えて対策を打たなければなりません。本市の小中学校体育館への空調設備設置についての考えを伺います。

以上で、1回目の質問を終わりにいたします。御答弁よろしくお願いをいたします。

○議長（ますだよしお君） ただいまの石毛隆夫議員の一般質問に対し、当局の答弁を求めます。

市長 田中豊彦君。

（市長 田中豊彦君登壇）

○市長（田中豊彦君） 石毛隆夫議員の一般質問にお答えさせていただきます。

私からはまず、新型コロナウイルス感染症対策についての中で、地方創生臨時交付金実施計画に市民ニーズをどう反映したかという御質問でございますが、第1次実施計画におきましては、感染拡大防止対策や、厳しい状況に置かれた市民や事業者への緊急的な支援として、必要な物資の提供や経済支援等を実施いたしましたところであります。

次に、第2次実施計画においては、引き続き市民や事業者への必要な経済支援を行い、感染拡大防止や地域経済の回復を図るとともに、コロナ禍での災害を想定した避難所の環境整備や小中学校での新たな教育環境の整備等、新しい生活様式を踏まえた事業を実施してまいりたいと考えております。計画の策定に当たりましては、市内事業者、関係機関等から様々な声を吸い上げるとともに、全国の支援事業等の情報を収集し、本市にとって必要な事業を決定してまいりたいと思っております。

次に、PCR検査数の拡大と高齢者等を優先したインフルエンザ予防接種の実施についての御質問でございますが、季節性インフルエンザの流行期を控え、新型コロナウイルスとの同時流行が懸念される中、PCR検査体制の拡充は喫緊の課題と捉えており、検査体制の強化が図

られるよう、長生郡市7市町村により、県に対して8月の28日に要望を行ったところでございます。

また、インフルエンザワクチンの優先的な接種につきましては、医療現場の混乱を避けるためには必要であると考えておりますので、65歳以上の高齢者の方への個別通知や、広報もばらや市ウェブサイト等を活用した接種の呼びかけを行ってまいりたいと考えております。私個人的には、できるだけインフルエンザワクチンの接種を早めに、できれば医師会、あるいは健康福祉センターと相談の中で、まずできれば全市民、本当は先にやりたいとは思っておりますけれども、なかなかそういくかどうか、今、調整しているところでございます。よろしく申し上げます。

○議長（ますだよしお君） 総務部長 山田隆二君。

（総務部長 山田隆二君登壇）

○総務部長（山田隆二君） 総務部所管に関わります御質問に御答弁申し上げます。

コロナ禍における避難所についての中で、指定避難所が28か所に減少したが、今後の避難所増設への取組はどの御質問でございますが、指定避難所につきましては、洪水ハザードマップの更新に伴い、34か所から28か所となっており、コロナ禍の避難所の収容可能人員は、3密状態を防ぐことから、半分以下となることが想定されます。この対策として、新たに避難所とする公共施設の増設は、現状では非常に難しく、民間企業等の施設の活用についても取り組んでおりますが、厳しい状況でございます。今後におきましても、避難所の確保に向け、努めてまいりたいと考えております。

次に、コロナ禍に対応する新たな避難所マニュアルの作成が求められ、それに沿った避難訓練を早急に行うことで、確実な分散避難体制の構築が可能となるのではないかと御質問ですが、避難所運営につきましては、新型コロナウイルス感染症に対応する項目を含めた指定避難所開設・運営マニュアルの改訂案を作成し、関係部署との最終的な協議を行っているところであり、策定となった段階で避難所対応職員や自主防災組織等に配布して周知を図るとともに、訓練等を行ってまいりたいと考えております。なお、避難所対応職員を対象とした避難所運営訓練を6月25日に開催し、3密を避ける対策や段ボールパーティションの設営等の訓練を実施したものでございます。以上でございます。

○議長（ますだよしお君） 教育長 内田達也君。

（教育長 内田達也君登壇）

○教育長（内田達也君） 教育関係の御質問に御答弁申し上げます。

教育環境の整備について、初めに、コロナ禍におけるGIGAスクール構想の前倒しのスケジュールでございますが、校内ネットワーク環境の整備につきましては、令和2年度中に完了する見込みとなっております。また、児童生徒が1人1台のタブレット端末を使用し学習できる環境整備につきましては、当初、本年度から3年間で整備する予定でしたが、国の方針も変わり、本年度中に整備することとし、今議会において補正予算要求をさせていただいておるところでございます。

次に、コロナ禍における授業の遅れ等に対応するための教職員の追加配置でございますが、臨時休業後、人的体制を整えることが必要であると考え、小学校1校に1名の教員が追加配置されております。そのほか、学習サポーター、スクールサポートスタッフの配置については、県に申請し、それぞれ9名、合わせて18名の追加配置がされております。スクールカウンセラーについては、学校再開後に勤務日数や時間を増やし、対応いたしました。

次に、小中学校体育館への空調設備設置につきましては、近年の厳しい暑さを考えますと、子どもたちが安全に体育の授業などを行うためにも、今後の課題の1つとして認識しております。また、災害時の避難所に指定されている体育館も多くございますので、関係部局と連携を図りながら、国の助成制度の活用や他自治体の動向について調査研究してまいります。以上でございます。

○議長（ますだよしお君） 再質問ありますか。石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） それでは、御答弁いただき、ありがとうございました。これより一問一答方式により再質問させていただきます。

まず、家庭と事業者への支援について質問をいたします。支援に際して留意された点とニーズの収集について御答弁を頂きましたが、本市の支援策には家賃補助がございません。国の家賃支援給付金は、5月から12月において、いずれかの1か月の売上高が前年同月比で50%以上減少している、または連続する3か月の売上高が前年同月比で30%以上減少していることが条件となっています。そこで、国の家賃給付金の対象外となった事業者への市独自の家賃支援が必要であると考えておりますが、見解を伺います。

○議長（ますだよしお君） 当局の答弁を求めます。経済環境部長 飯尾克彦君。

○経済環境部長（飯尾克彦君） 国の家賃支援給付金につきましては、厳しい経営状況の事業者に対しまして、集中的に支援を行うため、ある程度の条件が設けられているものと捉えております。対象外となった事業者への市独自の家賃支援につきましては、今のところ考えておりません。しかしながら、今後も市内事業者の状況把握に努めまして、必要な支援について検討

してまいりたいと考えております。以上です。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 2次補正での地方創生臨時交付金は、家賃支援を含む事業継続や雇用維持等への対応分として3億3600万円余、新しい生活様式を踏まえた地域経済の活性化等への対応分として3億2600万円余と、支援項目を分けて、国から提示をされています。市内事業者のニーズを把握した上で、家賃支援の需要がございましたら、改めて御検討よろしくお願いをいたします。

7月15日に、市議会公明党として2回目の要望書を、支援項目として18項目、防災・減災関連として16項目、市長へ提出させていただきました。その中に、コロナ禍の中、医療・介護・障がい福祉サービス従事者は、大変な状況の中、仕事に従事していただいております、その方々に対して慰労金の支給を要望させていただきました。

第2次実施計画に含まれている慰労金につきまして質問をいたします。医療・介護・障がい福祉サービス従事者への支給対象は、正社員やパート従業員、全ての作業従事者に支給していただきたいと考えております。支給対象者はどのように考えておられるのか伺います。

○議長（ますだよしお君） 当局の答弁を求めます。市民部長 久我健司君。

○市民部長（久我健司君） 医療機関の従事者への慰労金につきましては、県が実施いたします新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金交付事業の上乗せで実施するものでありまして、対象者は、県に準じ、医療機関等で令和2年1月30日から6月30日の間に通算して10日以上勤務した医療機関の従事者や職員として、各医療機関を経由して支給するものと考えております。

○議長（ますだよしお君） 福祉部長 関屋 典君。

○福祉部長（関屋 典君） 介護・障がい福祉サービス従事者への慰労金の支給につきましては、市内の事業所、施設に勤務する職員であれば、県の慰労金に準じまして、正社員、パート従業員といった雇用形態に関わらず、支給対象者とするを予定しております。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 慰労金の支給対象者は県に準ずるとの御答弁でありましたが、患者、利用者との接触を伴うことが条件となっており、解釈の仕方によれば、同じ職場で支給できる方と支給できない方が出てしまうと懸念しています。心身に重い負担がかかりながら従事してくださっている方への慰労金が目的となりますので、大切なことは、支給対象者に漏れなく慰労金を行き渡らせることではありますが、不公平感が出ないように周知を徹底していただき、間接的な接触も含めて、幅広い申請を促していただきますようお願いをいたします。

次に、厚生労働省が発表した児童虐待の相談件数の本年1月から4月速報値は6万6789件、前年同月比の12%増でありました。外出自粛によるコロナ禍のストレスも影響しているものと思われませんが、本市の児童虐待、DVへの相談状況と取組について伺います。

○議長（ますだよしお君） 答弁を求めます。福祉部長 関屋 典君。

○福祉部長（関屋 典君） 本市の本年1月から4月の児童虐待、DVへの相談状況でございますが、児童虐待の相談件数は17件、前年同月に比較いたしますと51%の減少、またDVの相談件数は16件、前年同月比54%の減少となっております。

次に、児童虐待への取組でございますが、虐待の早期発見・早期対応のため、要保護児童対策地域協議会におきまして、関係機関との情報共有を行い、課題や援助方針を協議する場を設けており、適切な対応に努めているところでございます。

また、DV被害者への取組でございますが、市役所の子育て支援課内に家庭児童相談員を配置いたしまして、DV相談への適切な対応に努め、必要に応じて、一時保護施設、いわゆるシェルターと呼ばれているものへの入所等の支援を行っております。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 分かりました。全国的には児童虐待相談件数が増えておりますが、本市の相談件数は大幅に減っております。この乖離の原因を調べていただきまして、もし相談体制の強化が必要な場合は御検討よろしくお願いをいたします。

次に、新型コロナウイルス感染症への支援は、かなりボリュームがあり、申請書類も多岐にわたります。支援を受けるに当たり、様々な申請書の書類が必要となります。申請者の書類作成の負担を軽減するためにも、各種申請の代行、あるいは補助のための社会保険労務士、また行政書士等との協定が有効であると考えますが、見解を伺います。

○議長（ますだよしお君） 答弁を求めます。経済環境部長 飯尾克彦君。

○経済環境部長（飯尾克彦君） 本市では、公益財団法人千葉県産業振興センターと連携し、よろず市町村窓口相談を8月より月2回設置し、相談体制を整えております。協定につきましては、他の自治体の状況を参考にしながら、必要性について検討してまいりたいと考えております。以上です。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 分かりました。昨年の一連の災害のときの補助金の申請も、無料で行政書士会のほうで行っていただきましたので、それを参考に御検討よろしくお願いをいたします。

次に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている個人や事業者への支援は多岐にわたり、また支援体制も充実していかなければなりません。支援情報一覧の定期メンテとその周知及び各種支援相談専門窓口の分かりやすい周知が必要であると考えますが、見解を伺います。

○議長（ますだよしお君） 答弁を求めます。市民部長 久我健司君。

○市民部長（久我健司君） 支援情報の一覧につきましては、5月15日に新聞折り込みで周知したところでございますが、一覧に掲載されている情報や新しい支援情報は、市ウェブサイトや広報もばらにおきまして、随時掲載しているところでございます。市民の皆様に分かりやすい情報の提供として、支援情報の一覧を掲載していくことは必要であると考えておりますので、関係各課と協議の上、準備が整い次第、市ウェブサイトへの掲載を実施していきたいと考えております。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 新聞折り込みも、改めて御検討よろしくお願いをいたします。

次に、医療体制について質問をいたします。新型コロナウイルス感染症とインフルエンザは初期症状が似ており、万が一流行すれば、PCR検査の需要を増やし、診療所での密集を生み出してしまうと懸念しています。インフルエンザ予防接種費用の助成対象である65歳以上の高齢者の方以外に、基礎疾患をお持ちの方への助成が医療体制の維持には有効であると考えますが、助成拡大についての見解を伺います。

○議長（ますだよしお君） 答弁を求めます。市民部長 久我健司君。

○市民部長（久我健司君） 現在、市では、65歳以上の方、または60歳以上65歳未満の方で心臓、腎臓、もしくは呼吸器の機能の障害、またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害を有する方を対象に、接種費用の3000円を上限に助成をしております。基礎疾患をお持ちの方への助成は有効であると考えておりますが、対象の拡大は難しいものと考えておりますので、現行制度の周知に努めてまいります。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 現行制度の周知と併せて、助成が今の状態では難しくとも、基礎疾患をお持ちの方や、また受験生の方へのインフルエンザ予防接種の受診を促すための周知をよろしくお願いをいたします。

次に、ワクチン確保について、政府はこれまでアストラゼネカ社から1億2000万回分、ファイザー社から2回接種で6000万回分のワクチンを、いずれも開発が成功した場合に供給を受けることで基本合意をしていますが、新型コロナウイルス感染症対策分科会では、ワクチン接種

について、医療従事者、高齢者、基礎疾患がある人を優先すべきとの見解を示しました。政府は、これを踏まえ、ワクチンの接種順位に関する計画を取りまとめる方針です。そこで、本市の新型コロナウイルスワクチン接種の行動計画の作成状況について伺います。

○議長（ますだよしお君） 答弁を求めます。市民部長 久我健司君。

○市民部長（久我健司君） 新型コロナウイルスのワクチン接種につきましては、国は8月21日に行われました新型コロナウイルス感染症対策分科会の中で優先接種対象者などの考え方を示しておりますが、詳細は決定されておられません。そのため、行動計画につきましても、作成できていない状況にあります。今後、国から実施に向けてのスキーム等が示された場合には、速やかに作成をしてまいりたいと考えております。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 既に様々な準備はされているとは思いますが、感染症早期収束にはワクチン接種が有効であると考えますので、特に必要な方が速やかにワクチン接種できるような行動計画の作成をお願いいたします。

次に、避難所体制について質問をいたします。新たな避難所の増設は非常に難しいとの答弁でありましたが、コロナ禍における避難所の増設は、早急に取り組むべき重要課題であると思えます。各地域に設置されている集会所などを避難所として活用することは有効であると思えますが、見解を伺います。

○議長（ますだよしお君） 総務部長 山田隆二君。

○総務部長（山田隆二君） 各地域の集会所等は、災害の種類にもよりますが、立地条件や建築構造等の安全性が確認できたものについては、一時的な避難所として有効であると考えております。以上です。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 県内の他の自治体も、避難所の増設に力を入れています。市原市は、早期避難所11か所に加えて、補完する意味で、各地区で14か所の避難所を追加開設する計画であります。また、東金市では、市内ホテル4か所、計141室を避難所として活用する予定になっております。台風シーズンに突入しておりますので、早急に安全性の確認や協議を行い、民間施設の利用も含めて、避難所増設の取組をお願いいたします。

次に、避難所での感染症対策には3密を避けることが大前提であるため、教室の使用も必要になってくると考えます。南房総市では、現在27ある避難所のほかに、コロナ禍に対応するため、各小中学校の教室を80教室開放する予定になっております。本市では、各教室の使用につい

てはどのように考えておられるのか伺います。

○議長（ますだよしお君） 答弁を求めます。総務部長 山田隆二君。

○総務部長（山田隆二君） 学校の空き教室につきましては、新型コロナウイルスの影響により避難所の収容可能人員が減少したことによる不足を補うため、必要であると考えております。現在、各学校に協力を得られることとなっておりますので、詳細な部分を個別に協議してまいります。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 長期の避難生活になった場合、どのように学校運営と避難所運営を行うかなど、詳細な協議をしていただきたいと思います。

次に、昨年の災害の際は、車の置き場所に苦労したとの声がありました。避難時の車の保管場所や、避難所に収容し切れず、車の中で避難するケース、またペットとの同行避難も考えられます。一時避難所として民間施設や民間敷地との協定締結が必要であると考えますが、見解を伺います。

○議長（ますだよしお君） 答弁を求めます。総務部長 山田隆二君。

○総務部長（山田隆二君） コロナ禍により、避難所の収容可能人員が減少したことから、避難所や車の避難場所について確保する必要があると認識しておりますので、新たな民間施設との協定の締結を検討してまいります。以上です。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） それでは、早急によりしくお願いをいたします。

次に、避難所運営について質問をいたします。避難所対応職員を対象とした避難所運営訓練を6月25日に開催したとの答弁でありましたが、3密対策、段ボールパーティションの設営等の訓練を通して、どのような点に課題が見つかったのか伺います。

○議長（ますだよしお君） 総務部長 山田隆二君。

○総務部長（山田隆二君） コロナ禍の避難所訓練として、段ボールパーティションの組立ては全員簡単に実施することができましたが、今後、内容的に避難所の受付や消毒の要領について検討してまいります。また、職員以外の避難所関係者への訓練も考慮してまいりたいと考えております。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 分かりました。コロナ禍の避難所運営は、3密を避けることから検討しなければなりません。そこで、体調の悪い方はどこで避難をしていただくかなど、避難所で

の体調不良の方への対応について伺います。

○議長（ますだよしお君） 総務部長 山田隆二君。

○総務部長（山田隆二君） 指定避難所開設・運営マニュアルを改訂する中に、新型コロナ対策として健康状態チェックリストを作成しており、体調等の確認ができるようにしております。また、体調不良の方への対応といたしましては、通常の避難スペースのほかに、濃厚接触者ゾーン、発熱者ゾーン、妊産婦ゾーン等の専用スペースを設置し、対応してまいりたいと考えております。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 御答弁いただいた専用スペースの設置は大変に有効でございますが、専用スペース設置については、指定避難所の収容人数を減らさなければなりません。今までの御答弁を通して、避難所増設確保への取組をされてはおりますが、遅れていると感じますので、詳細な協議を含めて、よろしく願いをいたします。

続きまして、GIGAスクール構想の早期実現について質問をいたします。GIGAスクール構想は、児童生徒が1人1台のパソコンやタブレット端末を持つこととなっておりますが、本市が考えている端末の種類と購入方法について伺います。

○議長（ますだよしお君） 教育部長 岩瀬裕之君。

○教育部長（岩瀬裕之君） 端末によりまして長所、短所がありますので、まだ決定しておりませんが、現在、タブレットパソコンの中で検討しているところでございます。また、端末の購入につきましては、本年度、一括購入を考えております。以上です。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 御答弁いただいたとおり、パソコンとして、またタブレットとして使用できる、ツーインワンの機種がベストだと思いますので、あらゆるICT教育に対応できるような機種の選定をよろしく願いいたします。

続きまして、今回の端末購入やネットワーク環境の整備には、国の補助金と地方創生臨時交付金で対応できますが、一括購入した場合の買い換え時には、市の財政負担で賄うこととなるのか伺います。

○議長（ますだよしお君） 教育部長 岩瀬裕之君。

○教育部長（岩瀬裕之君） 全ての端末の買い換えにつきましては、多額の費用を必要といたします。今回は国からの補助で購入を予定しておりますが、買い換えに際しましては国から補助金や交付金等は示されておられませんので、大きな課題として捉えております。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） おそらく四、五年後には買い換えの時期が来ると思います。今後のシステム業者との契約締結や機種選定においても、買い換え時のプランも考慮し、後年度負担をいかに対応するのか、今の段階から御検討していただきますようよろしく願いをいたします。

次に、教育へのICT活用は、コロナ以前からの取組であり、日本の教育が抱える課題の克服を目的としています。経済協力開発機構（OECD）が世界の15歳を対象に、2018年に実施した国際学習到達度調査では、日本の子どもは、ネット上の膨大な情報の中から、必要なものを取り出し、信頼できるか見極める能力が十分育まれているとは言い切れないとされました。

ICT教育の趣旨を理解していただいた上で、今後の課題はICTに不慣れな教員へのフォローアップだと思いますが、見解を伺います。

○議長（ますだよしお君） 教育部長 岩瀬裕之君。

○教育部長（岩瀬裕之君） ICT教育の研修につきましては、各学校の計画で進めておりますが、端末等を使用した授業を充実させるため、さらに教員のフォローアップに向けた研修を行う必要があると考えております。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 分かりました。既に来年度から本格的なICT教育が開始されると思われまので、早急なフォローアップ研修をよろしくお願いいたします。

次に、教員の加配及び学習サポーター等の追加配置について質問をいたします。小学校に1名の教員の追加配置、学習サポーター、スクールサポートスタッフはそれぞれ9名の追加配置との答弁でありましたが、中学校への教員加配はなく、現状の加配、追加配置の状況で足りているのか。追加で県に要望しているのかについて伺います。

○議長（ますだよしお君） 答弁を求めます。教育部長 岩瀬裕之君。

○教育部長（岩瀬裕之君） 中学校への教員の配置につきましては、現状ではまだ不足していると考えております。今後も引き続き、県に要望してまいりたいと考えております。以上です。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 御答弁いただいたとおり、教員の加配と併せまして、スクールカウンセラーの全校配置も含めて、要望をさせていただきます。

次に、小中学校体育館への空調設備について、国の助成制度の活用や他自治体の動向について調査研究していくとの答弁でありました。大阪府では、緊急防災減災事業債を活用し、2019年度から5年間で、府立高校132校、支援学校38校の計170校の体育館へのエアコン整備を現在

進めています。平成31年3月議会一般質問の際は、財源として緊急防災減災事業債の活用は有利な制度であります。後年度負担も考慮して、検討していくとの答弁でありました。地方創生臨時交付金と緊急防災減災事業債の両方を財源として活用することで設置が可能になると考えますが、見解を伺います。

○議長（ますだよしお君） 答弁を求めます。教育部長 岩瀬裕之君。

○教育部長（岩瀬裕之君） 地方創生臨時交付金と緊急防災減災事業債の活用とのことですが、財源といたしまして有利な助成制度であると考えております。それぞれの制度には対象となる事業や事業期間などがございますので、空調設備設置の検討を行う際には、活用できる助成制度も考慮しながら、関係部局と協議してまいりたいと考えております。以上です。

○議長（ますだよしお君） 石毛隆夫議員。

○3番（石毛隆夫君） 分かりました。小中学校体育館への空調設備設置は、大変に必要な事業であると考えております。前向きに御検討いただけますようよろしくお願いをいたします。

以上で、私の一般質問を終わりにいたします。御答弁ありがとうございました。

○議長（ますだよしお君） 以上で、石毛隆夫議員の一般質問を終わります。

これをもって、本日の議事日程は終了しました。

明日は午前10時から本会議を開き、認定案第1号から第7号並びに議案第1号から第9号までの質疑後委員会付託を議題とします。

本日は、以上で散会します。御苦労さまでした。

午前10時43分 散会

————— ☆ ————— ☆ —————

○本日の会議要綱

1. 一般質問

1. 石毛隆夫議員の一般質問並びに当局の答弁

- ① 新型コロナウイルス感染症対策について
- ② コロナ禍における避難所について
- ③ 教育環境の整備について

○出席議員

議長 ますだ よしお 君

副議長 前 田 正 志 君

1番	飯 尾 暁 君	2番	西ヶ谷 正 士 君
3番	石 毛 隆 夫 君	4番	岡 沢 与志隆 君
5番	平 ゆき子 君	6番	大 柿 恵 司 君
7番	向 後 研 二 君	8番	杉 浦 康 一 君
9番	はつたに 幸 一 君	10番	小久保 ともこ 君
11番	田 畑 毅 君	12番	山 田 広 宣 君
14番	金 坂 道 人 君	15番	中 山 和 夫 君
16番	山 田 きよし 君	17番	鈴 木 敏 文 君
19番	三 橋 弘 明 君	20番	竹 本 正 明 君
21番	常 泉 健 一 君	22番	市 原 健 二 君

☆

☆

○欠席議員

な し

☆

☆

○出席説明員

市長	田中豊彦君	副市長	豊田正斗君
教育長	内田達也君	理事	中村光一君
総務部長	山田隆二君	企画財政部長	麻生新太郎君
市民部長	久我健司君	福祉部長	関屋典君
経済環境部長	飯尾克彦君	都市建設部長	渡辺修一君
教育部長	岩瀬裕之君	総務部次長 (総務課長事務取扱)	田中正人君
企画財政部次長 (企画政策課長事務取扱)	中村一之君	市民部次長 (生活課長事務取扱)	地引加代子君
福祉部次長 (社会福祉課長事務取扱)	花沢春雄君	経済環境部次長 (商工観光課長事務取扱)	山本茂樹君
都市建設部次長 (土木建設課長事務取扱)	白井高君	都市建設部次長 (建築課長事務取扱)	高橋啓一君
教育部次長 (教育総務課長事務取扱)	渡辺裕次郎君	職員課長	平井仁君
財政課長	木島成浩君		

————— ☆ ————— ☆ —————

○出席事務局職員

事務局長	内山千里
局長補佐	鶴岡隆之
議事係長	金坂賢